



道路・交通分野における若手研究者の研究に対する助成について

阪神高速道路（株）では、一般財団法人阪神高速道路技術センター及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、若手研究者の育成に寄与する社会貢献の一環として、更にはその研究の成果を当社の高速道路サービスの向上にも活かすため、2018年度から「阪神高速若手研究者助成基金」を設け、公募によって、都市における高速道路に関する研究に対して助成金を支給しております。

2019年度については、2018年11月28日から2019年2月15日まで募集を行い、構造物、交通工学、経済など幅広い分野から13件の応募をいただき、これらを社内選定委員会において厳正に審査した結果、次の4件の研究（計595万円）を助成することを決定しました。

研究課題名	所属	職名	氏名
鋼製外殻フーチングによる合理的な増し杭施工法の開発	摂南大学 理工学部	講師	寺本 俊太郎
高力ワンサイドボルトを用いた摩擦接合継手および当て板補修部材の終局挙動の解明	熊本大学大学院 先端科学研究部	助教	森山 仁志
ディープラーニングによる高速道路ネットワーク安全性評価モデルの開発	愛媛大学大学院 理工学研究科	特任講師	坪田 隆宏
薄層に支持された杭基礎の繰返し荷重に対する鉛直支持力特性に関する研究	京都大学大学院 工学研究科	准教授	澤村 康生

研究課題名の50音順

なお、その研究成果については、2020年6月頃、HP等で公表する予定です。